



(旧和商)

和商同窓会報



(新和商)

(発行所) 和歌山市砂山南3丁目3-94

県立和歌山商業高校内 TEL 436-6456

社団法人和商同窓会

(第33号) 平成18年3月1日(水曜日)

友情は喜びを倍に 悲しみを半分にする

理事長

小川 武

和商同窓会の皆様方には、卒業生を送り出し、先輩諸氏が文字通り全国各地・各分野でリーダーとして活躍されておられ、また、在校生の皆さんも全国有数の商業高校として、文武両面にわたって輝かしい実績をあげられておられることを、嬉しく、誇りに思っております。また、平素は当会活動に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。



「友情は喜びを倍にし、悲しみを半分にする」といいますが、本当にそのとおりに感じています。

「友情は喜びを倍にし、悲しみを半分にする」といいますが、本当にそのとおりに感じています。昔は、元気があつた、21世紀枠での選抜出場は叶いませんでした。しかし、候補校に選ばれたという誇りを誇りに、夏に向けて、引き続き練習に励まれますことを期待します。

本校は明治37年開校以来、すでに3万人を超える卒業生を送り出し、先輩諸氏が文字通り全国各地・各分野でリーダーとして活躍されておられることを、嬉しく、誇りに思っております。また、在校生の皆さんも全国有数の商業高校として、文武両面にわたって輝かしい実績をあげられておられることを、嬉しく、誇りに思っております。

「伝統の意気に感ず！」



和商同窓生の皆様方には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より本校教育の充実発展のため、物心両面のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

私の好きな言葉に「人生は着任から早や一年、アツて、和商の門をくぐった日、とても元気な声で

「こんにちは」と声を掛けると、和商はその「意気」を感じてくれる学校です。このように、以来、毎日「おはようございます」の挨拶、日々「失礼します」の挨拶、息吹を感じます。各界に散らばる和商の卒業生が、和商の「意気」を感じてくれる学校です。このように、以来、毎日「おはようございます」の挨拶、日々「失礼します」の挨拶、息吹を感じます。各界に散らばる和商の卒業生が、和商の「意気」を感じてくれる学校です。

で学ばれた皆さんの若々しい情熱と無限の可能性に大いに期待するところであり、結びになりますが、保護者の方々、学校関係者など、皆様方の今日までのご尽力に深く感謝し、さらなる母校の充実、発展を祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

僕はこの1年間生徒会長として様々な生徒会活動をしてきました。しかし、和商に入会時は生徒会活動に興味を持っておらず、まさか自分が和商で生徒会長をするなんて思ってもいませんでした。最初は、二年生の時に友達に頼まれ、文化祭実行委員に入り、生徒会の先輩方と共に仕事を

皆様の協力に 感謝の気持ち

生徒会長
浅田勝利

でも、理想と意気込みを持ち始めた生徒会活動と現実とは違うものでした。生徒会役員を決めるのも、すんなりいかず、去年とは違う生徒会を、意識するべく、前回の時期に「次期生徒会長」の話を勧められた時はとても驚き、最初自分には出来ないと思いましたが、4月かから仕事はどんどん増えていき、1つ1つをこなしていくのがやっとな状態でした。入学式や新入生歓迎会、中国の学校との交流会やクラブ紹介に壮行会、体育祭

さて、今学校は地域に開募するというものです。経験や得意分野の講話、技能や趣味の実演、またクラブ指導の補助や進路の相談に、本校では地域の方々から、本校では地域の方々から、「開き」方があると思いたるまで、支援方法は様々あります。気軽に学校へおいで頂ける方には是非古果の門をたいて頂きたいと思っております。

和商の新しい世紀に向けてのスタートに、その責任の重さを痛感しています。広い視野に立てる人間、和を尊ぶ人間の育成を目指したいと思っております。100年の伝統と歴史の重みを重視し、その「意気」が子ども達に伝われば、きっと責任を背負った完成したからこそ、文化祭の日の感動があったんだと思います。

と文化祭。実に幅広く、1つ1つがとてもよい経験になり楽しくもいふものがありました。また、そうした数々の行事を支えてくれた先生方、役員のみならずは、生徒会役員、文化祭実行委員のみなさんが協力し、力を合わせ1つの目標に向かえたかけがえのない時間だったと思っております。この時にみんなが協力して頑張った、試行錯誤の積み重ねでやっと完成したからこそ、文化祭の日の感動があったんだと思います。

この1年間の生徒会活動の中には、あまり表に出てこない地味な仕事もたくさんありました。簡単な仕事も苦しい仕事もあり、生徒会の中で、肩書きなんて関係なく、みんながただ頑張るだけの時もありました。しかし、そんな仕事でも、責任を持ってやり遂げてくれば、この頼りない自分を助けてくれた生徒会役員、みんな、困った時には黙って手助けをして下さった先生方、そして様々な所で生徒会に協力をしてくれた生徒達には、和商の卒業生としての誇りと自信を持って、僕がこの1年間を何とかやってこれたのも、決して一人の力じゃなく誰かが助けてくれた、僕が一杯頑張

と文化祭。実に幅広く、1つ1つがとてもよい経験になり楽しくもいふものがありました。また、そうした数々の行事を支えてくれた先生方、役員のみならずは、生徒会役員、文化祭実行委員のみなさんが協力し、力を合わせ1つの目標に向かえたかけがえのない時間だったと思っております。この時にみんなが協力して頑張った、試行錯誤の積み重ねでやっと完成したからこそ、文化祭の日の感動があったんだと思います。

この1年間の生徒会活動の中には、あまり表に出てこない地味な仕事もたくさんありました。簡単な仕事も苦しい仕事もあり、生徒会の中で、肩書きなんて関係なく、みんながただ頑張るだけの時もありました。しかし、そんな仕事でも、責任を持ってやり遂げてくれば、この頼りない自分を助けてくれた生徒会役員、みんな、困った時には黙って手助けをして下さった先生方、そして様々な所で生徒会に協力をしてくれた生徒達には、和商の卒業生としての誇りと自信を持って、僕がこの1年間を何とかやってこれたのも、決して一人の力じゃなく誰かが助けてくれた、僕が一杯頑張

新役員 (新55期生) きます。

- | | | | |
|----|-------|-----|----|
| 1組 | 浅田勝利 | 中尾和 | 廣和 |
| 2組 | 阪野友香 | 藤田真 | 真実 |
| 3組 | 名手優人 | 池上真 | 衣衣 |
| 4組 | 岡本直子 | 山本輝 | 樹樹 |
| 5組 | 田中一貴 | 新井美 | 幸幸 |
| 6組 | ◎中屋隆誠 | ◎森協 | 恵恵 |
| 7組 | 大西康平 | 中井陽 | 子子 |
| 8組 | 榎本貴恵 | 湊理 | 理理 |
| 9組 | 菅野裕子 | 紀野利 | 加加 |

◎は代表評議員

本校の進路動向

346名の卒業予定者のうち234名(68%)が進学希望者、112名(32%)が就職希望者と今年度も進学希望者の方が圧倒的に多い。就職については景気は若干持ち直しているものの、販売・事務の求人相変わらず厳しい。進学はほとんどが推薦であるが、和歌山大学に3年連続5名合格、立命館大学に4名合格、和歌山県立医科大学看護学部初めて合格するなど本校にとって難関校といえる大学への進学も増加している。平成18年1月10日現在

学科名	卒業生			就職者			縁故			公務員			就職者合計		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
情報処理科	22	52	74	2	11	13	0	1	1	1	0	1	3	12	15
会計課	52	144	196	14	42	56	0	1	1	0	0	0	14	43	57
国際経済科	18	58	76	5	10	15	0	1	1	0	0	0	5	11	16
合計	92	254	346	21	63	84	0	3	3	1	0	1	22	66	88

学科名	四年制大学			短期大学			専門学校			進学者合計		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
情報処理科	9	13	22	0	8	8	8	12	20	17	33	50
会計課	18	14	32	0	23	23	13	39	52	31	76	107
国際経済科	8	8	16	0	18	18	2	11	13	10	37	47
合計	35	35	70	0	49	49	23	62	85	58	146	204



